

## 立花家史料館 全展示作品リスト 2020.10.3~2020.11.29

秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 王朝の雅をつたえる香道具			
名称	ふりがな	時代	作者／産地
十種香道具	じっしゅこうどうぐ	明治時代以降	—
薫物（練香）	たきもの ねりこう	不詳	—
香木	こうぼく	江戸時代初期	—
香道具（香割道具）	こうどうぐ こうわりどうぐ	江戸時代末期～明治時代	—
青磁間香炉	せいじききこうろ	中国・明時代	中国・龍泉窯
青磁雷文間香炉	せいじらいもんききこうろ	江戸時代後期～明治時代	京都
火舎香炉	ほやこうろ	江戸時代	—
染付唐子文香炉	そめつけからこもんこうろ	江戸時代後期	長崎・三川内窯
金梨地秋草蒔絵扇形香盆	きんなしじあきくさまきえ おうぎがたこうぼん	江戸時代後期	—
秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 茶の湯のなかの香道具「香合」			
屈輪文堆朱香合	ぐりもんついしゅこうごう	中国・明時代	—
鉄線唐草文蒔絵重香合	てっせんからくさもんまきえ じゅうこうごう	江戸時代後期	—
樹下人物文堆朱香合	じゅかじんぶつもんついしゅこうごう	江戸時代後期	—
鉄釉割蓋香合	てつゆうわりぶたこうごう	江戸時代初期	愛知・瀬戸窯
黄瀬戸香合	きせとこうごう	江戸時代初期	岐阜・美濃窯
染付周茂叔香合	そめつけしゅうもしゆくこうごう	江戸時代	京都
古染付香合	こそめつけこうごう	中国・明時代	中国・景德鎮窯
染付唐草文香合	そめつけからくさもんこうごう	江戸時代末期～明治時代	佐賀・有田窯
鉄絵琵琶香合	てつえびわこうごう	江戸時代後期	佐賀・唐津窯
象嵌屏風箱香合	ぞうがんびょうぶばこうごう	江戸時代中期	熊本・八代窯
秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 名品に感じる「わび茶」の世界			
墨吹茶碗	すみふきちやわん	韓国・朝鮮王朝時代	—
刷毛目茶碗	はけめちやわん	韓国・朝鮮王朝時代	—
三島唐津暦手水指	みしまからつこよみでみずさし	江戸時代初期	佐賀・唐津窯
赤水指 銘 面壁	あかみずさし めい めんぺき	江戸時代初期	伝 楽3代道入
備前綴目水指	びぜんとじめみずさし	江戸時代	岡山・備前窯
茶杓 筒 玄々齋精中	ちゃしゃく	桃山時代	伝 千利休
筆洗茶碗	ひっせんちやわん	韓国・朝鮮王朝時代	—
三島茶碗	みしまちやわん	韓国・朝鮮王朝時代	—
青磁茶入	せいじちやいれ	韓国・高麗～朝鮮王朝時代	—
瀬戸底面取手茶入	せとそこめんとりてちやいれ	江戸時代初期	愛知・瀬戸窯
一行書「千丈帰心詩巻裏」	いちぎょうしよ せんじょうのきしんしかんのうら	明治40年(1907)	12代柳川藩主・立花鑑寛
茄子茶入	なすちやいれ	中国・明時代	—
葵紋入皆具 12代鑑寛正室・純姫所用	あおいもんいりかいぐ あきともせいしつすみひめしよよう	江戸時代後期	—
蒲池焼風炉	かまちやきふる	江戸時代末期	福岡・蒲池窯
秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 小さな茶道具「蓋置」			
蓮の葉被り人形蓋置	はすのはかぶりにんぎょうふたおき	江戸時代	—
三閑人蓋置	さんかんじんふたおき	中国・明時代	—
栄螺蓋置	さざえふたおき	江戸時代後期	佐賀・唐津窯
青磁火舎香炉蓋置	せいじほやこうろふたおき	中国・明時代	—

秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 拝領の茶壺			
唐物茶壺（呂宋壺） 伝 豊臣秀吉より拝領	からものちやつぼ るそんつぼ でん とよとみひでよしよりはிரりょう	中国・明時代	—
瀬戸茶壺 銘 養老 伝 徳川家光より拝領	せとちやつぼ めい ようろう でん とくがわいえみつよりはிரりょう	江戸時代初期	愛知・瀬戸窯
秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 茶杓に感じる茶人の個性			
茶杓 銘 旬雨	ちゃしゃく めい しゅんう	江戸時代初期	一翁宗守
茶杓 共筒	ちゃしゃく ともづつ	江戸時代初期	一尾伊織
茶杓 共筒	ちゃしゃく ともづつ	江戸時代初期	船越永景
茶杓 銘 羽箒 共筒	ちゃしゃく めい はぼうき ともづつ	江戸時代中期	清水道竿
象牙茶杓	ぞうげちゃしゃく	江戸時代	—
平常展示「よくわかる刀剣のみかた」			
名称	ふりがな	時代	所有者／作者
刀 無銘 伝郷義弘	かたな むめい でん ごうよしひろ	南北朝時代	7代柳川藩主・立花鑑通
脇指 銘 柳川住直安	わきざし めい やながわじゅうなおよす	江戸時代後期	—
鑓 銘 兼勝作	やり めい かねかつさく	室町時代	—
鑓 銘 柳川住源信国吉英作	やり めい やながわじゅう みなものぶくによしひでさく	江戸時代後期	—
薙刀 銘 山城大掾藤原国次	なぎなた めい やましろだいじょう ふじわらくにつぐ	江戸時代	—
平常展示「歴代の武具甲冑～戦の時代～」／「歴代の武具甲冑～泰平の時代へ～」			
伊予札縫延栗色革包仏丸胴具足	いよざねぬいのべくりいろかわつつみ ほとけまどうぐそく	桃山時代	初代柳川藩主・立花宗茂
金箔押桃形兜【復原】	きんぱくおしももなりかぶと	桃山時代～江戸時代初期	—
鉄黒漆塗骨牌鉄繫置具足	てつくろうるしぬりかるたがねつなぎ たたみどうぐそく	江戸時代初期	2代柳川藩主・立花忠茂
鉄錆地桜文亀甲鉄繫置具足	てつさびじさくらもんきっこうがね つなぎたたみどうぐそく	江戸時代初期	3代柳川藩主・立花鑑虎
鉄黒漆塗萌黄糸素懸威最上胴具足	てつくろうるしぬりもえぎいと すがけおどしもがみどうぐそく	江戸時代後期 (1859～1860)	12代柳川藩主・立花鑑寛
平常展示「姫さまの婚礼調度」「立花家の雛と雛調度」「立花家伝来の人形」			
緋羅紗地挟箱掛	ひらしゃはさみばこかけ	江戸時代後期	12代藩主・鑑寛正室 純姫
唐草葵紋蒔絵挟箱	からくさあおいもんまきえ はさみばこ	江戸時代後期	12代藩主・鑑寛正室 純姫
葵紋蒔絵長持	あおいもんまきえながもち	江戸時代中期	12代藩主・鑑寛正室 純姫
梅唐草祇園守紋蒔絵女乗物	うめからくさぎおんまもりもん まきえおんなのりもの	江戸時代後期	—
有職雛	ゆうそくびな	江戸時代後期	—
牡丹唐草蒔絵雛調度	ぼたんからくさまきえひなちょうど	江戸時代後期	江戸七澤屋製
芥子雛段飾り	けしびなだんかざり	江戸時代後期	江戸七澤屋製
賀茂人形	かもにんぎょう	江戸時代後期	—
賀茂人形・起き上がり	かもにんぎょう おきあがり	江戸時代後期	—
賀茂人形・裸坊	かもにんぎょう はだかぼう	江戸時代後期	—
賀茂人形「七福神」・起き上がり	かもにんぎょう しちふくじん おきあがり	江戸時代後期	—
御所人形	ごしょにんぎょう	江戸時代中期～後期	—
御所人形	ごしょにんぎょう	江戸時代後期～明治時代	—
裸嵯峨人形	はだかさがにんぎょう	江戸時代中期	—
雛調度	ひなちょうど	江戸時代中期	—